

## <炭のパウダーの活用法—我が家の場合>

### <参考資料>

---

厚生労働省健康局水道課長から各都道府県水道行政担当部(局)長宛の健水発0319第1号(平成23年3月19日)「福島第一・第二原子力発電所の事故に伴う水道の対応について」という通達文書には以下のような記述があります。「粉末活性炭によるヨウ素131の除去実験では、原水への添加の場合、活性炭注入率が5、30、200 mg/Lで、除去率はそれぞれ74%、100%、100%。」。

---

ある方からのメール転載……何かできることがあるのではと想着いて、炭が放射線防護に役立ち、活性炭が放射性核種を吸収するという話を思い出しました。一つはチェルノブイリ事故の一年後だったと思いますが、筑波の研究室へウクライナとロシアから二人の医師が外務省の紹介で尋ねてきました。爆発後子供にヨードを飲ませたところ嫌って吐くので、老人たちが消し炭をすりつぶして飲ませていたといいます。不思議に思って便を調べると、極めて高い値が出たので、食物に含まれていた放射性核種を吸収排泄することが分かったということでした。私が炭と微生物との関係を調べているというので訪ねてきたのだそうです。

もう一つは、10数年前のことですが、オガライトを炭化して、白炭を作っている奈良炭化という製炭業者が、炭の粉が大量に売れたと教えてくれたことがあります。この炭は商社を通じて米軍に届けられたといいます。劣化ウラン弾を使ったイラク戦争が起こる前だったので、ベストやマスクに入れるためだったようです。憶測も交じる話ですから、確実ではありませんが、東海村で事故が起こった時も中性子やガンマ線を通さないの、炭が使われたと聞きました。……

---

体内にとりこまれてしまった放射性物質を炭が吸着し排泄するという話があり、我が家では震災以来、家族で炭を服用しています。分量は特にこのくらいという根拠は何もありませんが、うちでは朝晩それぞれ食後に、小さじ半分程度の炭をスプーンの蜂蜜をなめるような要領で口にのり、お茶などで飲み込んでいます。放射線で傷ついた細胞を修復するためには、免疫力を上げることも重要です。免疫力を上げるには昔ながらの日本の発酵食品(味噌、醤油、納豆、梅干し、漬物、玄米など)がいいです。炭が腸内の微生物の動きを活性化させたり、放射性核種の+イオンである放射線を炭のマイナス電子が吸着するという話もあります。

使い途としては、ピザやお好み焼き、たこ焼き、クッキー、パン、ケーキなど、粉ものに少量混ぜたり、蜂蜜、こんにゃく、カレーなどに入れる方もいるようです。楽しんでみて下さい。

<連絡先>七ヶ宿の白炭/佐藤光夫・円 〒989-0500 宮城県刈田郡七ヶ宿町字俣ノ台100-2

tel&fax 0224-37-3156 メールアドレス [hakutan7sato@mx5.et.tiki.ne.jp](mailto:hakutan7sato@mx5.et.tiki.ne.jp)

サイト<http://ww5.et.tiki.ne.jp/~hakutan7sato/> ブログ<http://hakutan7.blog.fc2.com/>